

特別活動（生徒会活動） 福祉体験「手話講座」

横浜市立笹下中学校



単元（題材）目標

- 地域で誰もが過ごしやすいようにするために、聴覚障がいについて理解しながら、コミュニケーション方法を学び、伝えようとする気持ちを育む。

（1）実施時期

平成 30 年 11 月 28 日（水）

（2）対象（学年等・人数）

37 名（福祉厚生委員：第 1 学年 10 名 第 2 学年 14 名 第 3 学年 14 名 職員 3 名）

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭 3 名

外部講師 1 名（港南区聴覚障害者協会）

アシスタント 2 名（手話サークル）

港南区社会福祉協議会職員 1 名 *名前をカット

（4）実施内容

①講演会「聴覚障がい理解」

- ・「音がない世界とは」音が聞こえないこと。なぜ聞こえないのか。

②「聞こえない」体験

- ・生徒自身が聞こえない役として、講師の口形を読み取る。

③手話体験

- ・簡単な日常会話の手話を学ぶ。

④講師と会話

- ・聞こえない人との会話を体験する。
- ・手話、指文字、筆談、空書、身振り、絵描き、口話を使って会話を体験する。

（5）成果〈生徒の感想などから〉

- 講師の話から、聴覚障害者が困っていることは何か、そして何を求めているかを知った。
- 「物事を知る・話す・聞く」は日常で必要なことである。
- 『手話はいのち』とは、聴覚障がい者にとって「目で見る会話・情報」がどんなに大切かということがわかった。
- 災害時の対応について
見てわかるように表示する等、緊急時の伝え方やインフォメーション方法の工夫を知った。

（6）その他

- 昨年は高齢者疑似体験をした。今後も様々な障がいについて理解を深めたい。